

岩石薄片製作実習

期間：平成20年4月1, 2, 4日

場所：理学部 特殊加工技術開発室 光学系試料製作部門 学生実習室

主催：理学部 地球惑星システム学科

内容：岩石薄片の基礎的な製作方法（岩石の切断・研磨・貼付等）の実習，および機械・器具等の取り扱い方法についての安全教育を行った．また，製作中に起こるケガ等は過去の事例に基づいてその都度説明を行った．なお，技術センター職員（石佐古早実）および大学院生が実習指導を担当した．

参加者：学生25名

第6回フィールドナビ「発見の小径オープン・春の里山観察」

期間：平成20年4月26日

場所：東広島キャンパス 発見の小径

主催：理学部 植物管理室

内容：新しく公開した発見の小径を歩きながら，里山の大切さや今日の状況について解説し，キャンパス内で見られる野草などの生き物について観察した．

参加者：57名

廃液回収システム講習会

期間：平成20年5月13日，5月15日，6月27日，11月11日，11月17日

場所：工学部 B 220講義室，歯学部 B 棟2階第5講義室，医学部第3講義室，環境安全センター，生物圏科学研究科 C 棟314号室

主催：環境安全センター

内容：廃液回収を利用する教職員・学生，特に新しく赴任された方，初めて実験廃液を出される方などを対象とする廃液回収システムの講習会を実施した．東広島キャンパスと霞キャンパスにおいて，それぞれ前期と後期に開催した．約1時間かけ

て廃液の分別方法，事務手続き，廃液回収当日の手順，消防法に係る安全上の注意点等を説明し，質疑応答を行った．実施会場が東広島キャンパスの場合には，環境安全センターの一般実験系排水処理設備の見学も希望者に対して行った．技術センター職員（坂下英樹）は教員とともに講師として参加した．

参加者：教職員，大学院生及び学部生約175名

分析機器利用講習会

期間：平成20年5月19日～6月6日

場所：自然科学研究支援開発センター

主催：自然科学研究支援開発センター 物質科学機器分析部

内容：教職員・学生を対象に，基本的な機器分析技術の習得を目的として，自然科学研究支援開発センターに設置している分析機器（電子プローブマイクロアナライザー・超伝導核磁気共鳴装置・高分解能透過型電子顕微鏡など）の操作方法及び分析の具体例を紹介した．技術センター職員（柴田恭宏，藤高 仁）が指導スタッフとして参加した．

参加者：教職員，大学院生及び学部生87名

教養ゼミ

期間：平成20年5月26日～6月30日

場所：教育学研究科（5月26日），発見の小径（6月9日～6月30日）

主催：理学部 植物管理室

内容：5月26日 キャンパスの自然環境と環境管理（実岡）

キャンパス内の里山について解説し，アカマツ林の下刈り管理の実習を行った．

6月9日 教養ゼミ（小澤）

6月16日 教養ゼミ（大池）

6月30日 教養ゼミ（松田）

「発見の小径」を歩きながら，里山の自

然と大切さについて解説した。また、外来生物の増加や、絶滅危惧生物について紹介した。

参加者：キャンパスの自然環境と環境管理

5月26日 80名

教養ゼミ 6月9日，16日，30日

合計46名

第7回フィールドナビ「サギソウの咲く湿地の生き物」

期間：平成20年8月30日

場所：発見の小径

主催：理学部 植物管理室

内容：日本の重要湿地に選定されている西条盆地の湿地の特徴と大切さについて解説し、キャンパス内のふれあいビオトープでサギソウや水生生物などの観察を実施した。

参加者：29名

大学院生のための金属工作実習

期間：平成20年9月8日～12日

場所：理学部 特殊加工技術開発室 1F 金属材料応用部門

主催：技術センター 工作部門・機械加工技術班

内容：理学研究科・先端物質科学研究科の大学院生を対象に、基本的な金属加工技術の習得を目的として、当部門に設置してある工作機械（普通旋盤・フライス盤・ボール盤など）の安全教育および取り扱い方法、加工手順を指導して、参加者が文鎮を製作した。技術センター職員（村中正志、石飛義明、浅田竜也、岡本和也）が指導を行った。

参加者：大学院生および学部生 17名

第8回フィールドナビ「キャンパスの樹木・どんぐりの観察」

期間：平成20年11月22日

場所：東広島キャンパス北部周辺

主催：理学部 植物管理室

内容：キャンパス内では約14種類のどんぐりを見ることができる。これらのどんぐりの木を探し、葉や実の形を比べてそれぞれの特徴を覚える。また、どんぐりの実の試食や、おもちゃ作りを紹介した。

参加者：41名